

号外 そよかぜ

号外

令和4年4月発行

羽島市民病院
ふれあいプロジェクト委員会
羽島市新生町3-246
TEL058-393-0111

羽島市民病院ICT化を推進

ICTとは、デジタル化された情報をやりとりする技術です。

AI問診はじめました

3月中旬から、タブレットによる事前問診をはじめました。まずは、内科初診外来で運用を開始させていただきます。なお、患者さんの利便性を考慮し、当面の間は、従来の紙問診票と併用して運用します。AI問診は、一般財団法人国際クラブ様のご寄付により導入しました。



<AI問診とは？>

タブレットに、症状についての質問が表示されるので、当てはまる選択肢を選びます。質問数は約25問です。医師は、患者さんがAI問診で回答した症状について、診察室で事前に確認できます。

<AI問診のメリット>

- ・対面では話しづらいこともタブレットで入力できます！
- ・言い忘れや伝え漏れが減ることで診察がより充実します！



マイナ受付はじめました

令和3年10月から、マイナンバーカードが保険証として使えるようになりました。

<マイナ受付のメリット>

- ・いつもの支払いが変わります！
(限度額認定証がなくても、限度額を超える支払いが免除)
※患者さまが羽島市民病院での情報共有に同意した場合
- ・確定申告が楽になります！
(マイナポータルからe-TAXに連携し、確定申告が簡単になります)
- ・健康保険証としてずっと使えます！
(転職後などでも、保険証としてずっと使えます)
※マイナンバーカードを健康保険証として利用するには、健康保険証利用の申し込みが必要です(生涯1回のみ)

